# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表（要約）

### 継続してたな卸資産の効率化が進む

たな卸資産は前年同期末比97.4%の274億円となり、第2四半期累計期間の売上高前年同期比102.9%を下回りました。2018年3月期の期末たな卸資産前期末比は94.6%であり、継続してたな卸資産の効率化が進んでいます。前期に続き、シーズン当初の在庫投入量を抑制しつつ売れ筋商品を機動的に追加する取り組み等が、たな卸資産の効率化につながっているものととらえています。

### 中長期的な成長拡大に向けた投資を積極化

固定資産は前年同期末比113.2%の256億円となりました。特に有形固定資産について、新規出店投資や既存店の改装投資に加え、中長期的な成長拡大を見据えた物流システムへの積極的な投資を実施しました。今後についても、中長期的な企業価値向上に向けたインフラ投資等を積極的に実行していきます。

### 長短借入金の動向

負債のうち長短借入金の残高は、前年同期末比69.8%の96億円となりました。

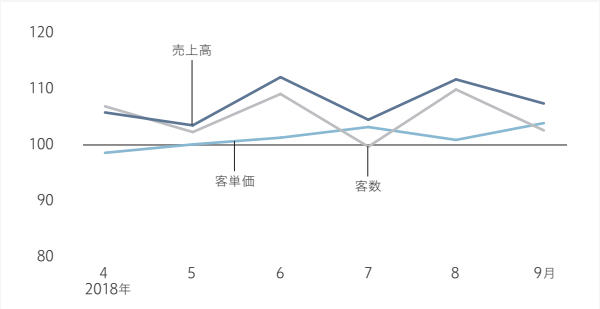
| 単位：百万円 | 2018年3月期 第2四半期末（2017年9月30日現在） | 2019年3月期 第2四半期末（2018年9月30日現在） | 2018年3月期（2018年3月31日現在） |
|---|---|---|---|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 48,033 | 45,734 | 43,861 |
| （うち、たな卸資産） | 28,147 | 27,414 | 24,799 |
| 固定資産 | 22,686 | 25,687 | 23,246 |
| 有形固定資産 | 9,715 | 10,547 | 8,907 |
| 無形固定資産 | 2,221 | 2,508 | 2,310 |
| 投資その他の資産 | 10,749 | 12,631 | 12,028 |
| 資産合計 | 70,720 | 71,421 | 67,107 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 33,700 | 32,066 | 27,213 |
| 固定負債 | 6,146 | 4,472 | 5,203 |
| 負債合計 | 39,846 | 36,539 | 32,417 |
| 純資産の部 | | | |
| 資本金 | 3,030 | 3,030 | 3,030 |
| 資本剰余金 | 4,140 | 4,213 | 4,205 |
| 利益剰余金 | 29,141 | 32,198 | 32,340 |
| 自己株式 | △5,861 | △5,833 | △5,861 |
| 株主資本合計 | 30,450 | 33,608 | 33,714 |
| その他の包括利益累計額合計 | 18 | 52 | △71 |
| 純資産合計 | 30,873 | 34,881 | 34,690 |
| 負債・純資産合計 | 70,720 | 71,421 | 67,107 |

### （株）ユナイテッドアローズの既存店売上高の動向

第2四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は、小売＋ネット通販売上高107.1%、客数104.6%*、客単価101.4%*となりました。販売チャネルでは、小売が既存店売上高前年同期比103.2%と順調に推移したことに加え、ネット通販が120.3%と高い伸びとなりました。商品別では各ストアブランドともウィメンズが好調を継続し、売上をけん引しました。既存店客数前年同期比は小売が102.8%、ネット通販が109.2%*と両チャネルとも好調に推移しました。

* ネット通販に関する買上客数、客単価については、「ユナイテッドアローズ オンラインストア」と「ゾゾタウン」から算出しています。

小売＋ネット通販 既存店売上高・客数・客単価 前年同期比の推移



## 連結損益計算書（要約）

### 増収、売上総利益率も改善

（株）ユナイテッドアローズ、（株）コーエン等の増収、各社のネット通販の伸長等により、売上高は前年同期比102.9%の717億円となりました。また、（株）ユナイテッドアローズのビジネスユニットにおける値引ロスの低減等により、売上総利益率は前年同期から0.3ポイント改善し、51.5%となりました。

### 販管費は戦略的なコストが増加

販管費率は前年同期から0.4ポイント上昇の47.3%となりました。これは、（株）コーエンにおいて、さらなる認知度向上を図るため初となるテレビCM放映を実施したほか、（株）ユナイテッドアローズにおいて、中長期的な成長拡大に向けた物流センターの再編を実施し、それに伴う一時的なコストが発生したためです。これらは全て中長期的な売上・収益の改善につながるものと考えます。

| 単位：百万円 | 2018年3月期 第2四半期累計（2017年4月1日—2017年9月30日） | 2019年3月期 第2四半期累計（2018年4月1日—2018年9月30日） | 前年同期比（%） |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 69,740 | 71,752 | 102.9 |
| 売上原価 | 34,031 | 34,804 | 102.3 |
| 売上総利益 | 35,708 | 36,947 | 103.5 |
| 販売費及び一般管理費 | 32,682 | 33,915 | 103.8 |
| 営業利益 | 3,026 | 3,031 | 100.2 |
| 営業外収益 | 140 | 136 | 96.7 |
| 営業外費用 | 42 | 43 | 100.6 |
| 経常利益 | 3,124 | 3,124 | 100.0 |
| 特別利益 | — | — | — |
| 特別損失 | 873 | 338 | 38.8 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,250 | 2,786 | 123.8 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,101 | 810 | 73.5 |
| 法人税等調整額 | △171 | 316 | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,268 | 1,503 | 118.6 |

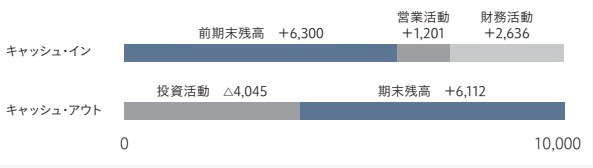
## 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

営業活動によるキャッシュ・フローでは、税金等調整前四半期純利益27億円、仕入債務の増加額24億円などの収入があった一方、たな卸資産の増加額26億円、その他の流動負債の減少額18億円、法人税等の支払額12億円などの支出があったことで、12億円のキャッシュ・インとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、新規出店、既存店改装、物流システム投資等に伴う有形固定資産の取得による支出24億円、長期前払費用の取得による支出8億円などがあったことで、40億円のキャッシュ・アウトとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払額19億円、長期借入金の返済による支出10億円などがあった一方、短期借入金の純増加額56億円があったことで、26億円のキャッシュ・インとなりました。

| 単位：百万円 | 2018年3月期 第2四半期累計（2017年4月1日—2017年9月30日） | 2019年3月期 第2四半期累計（2018年4月1日—2018年9月30日） | 2018年3月期（2017年4月1日—2018年3月31日） |
|---|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー（小計） | 5,796 | 2,466 | 17,709 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,477 | 1,201 | 13,938 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,855 | △4,045 | △2,442 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,704 | 2,636 | △10,812 |
| 現金及び現金同等物の期末（四半期末）残高 | 6,544 | 6,112 | 6,300 |

キャッシュ・フローの状況

百万円